

福田漁港周辺“食の拠点”区域の概要

1 構想の背景

- 1 水産資源、環境、景観など、魅力的な資源に恵まれている
- 2 釣りやサーフィンなどのレジャーや飲食施設「漁師のどんぶり屋」は好評を呈し、海の雰囲気と食を楽しみに人が集まっている
- 3 事業所の海外移転や自然災害等の影響により沿岸部の活力低下が懸念されている

2 めざす将来像

海辺の地域資源を活用した産業振興と交流人口拡大

3 目的

福田漁港周辺エリアが持つ資源を活用し、「食の拠点」として、沿岸部から地域経済の活性化とにぎわいの創出を図る

4 食の拠点づくり構想

福田漁港周辺エリアの最大の特徴・強みである『食』を本構想の中心に置き、『食の拠点』として、このエリアから食や海辺のレジャー情報を発信する



コンセプト：海辺の特徴を活かした食とレジャーの魅力発信基地

福田漁港の水産資源や海辺のロケーションを活かし、安全・安心も兼ね備えた新たな観光資源により、誘客を図り、にぎわいを創出します。



●ソフト面の整備

- ・食の地域ブランドやレジャー情報の発信拠点として、地元の農水産物、食を提供
- ・広域的なゾーンで誘客を図るようなソフト事業の仕掛け・展開・実施

【農林水産物や食の提供、定期的な催事】



【イメージ図】

●ハード面の整備

- ・海辺の情報を発信する新たな観光資源創出
 - ・津波避難機能とランドマーク性を兼ね備えた施設
- 【飲食・販売施設、津波避難タワーの整備】



【イメージ図】

●インフラの整備

- ・県や近隣自治体と連携した道路アクセスの改善